

やすらぎ

特養居住者
佐々木了キノ筆

第6号

発行 平成11年12月25日
社会福祉法人やすらぎ会
編集 広報委員会



昔ながらの遊び“あやとり”を今に伝える
〈第一小とかたくりの園との交流の一場面〉

◆特別養護老人ホームぶなの園 ◆沢内村デイサービスセンター
◆沢内村在宅介護支援センター ◆ホームヘルプサービス事業
沢内村大字太田第2地割135番地 ☎0197-85-2322

◆沢内村高齢者生活福祉センターかたくりの園
沢内村大字大野第17地割140番地1 ☎0197-85-3388

遊「び」を「通」して 心と体のリハビリ

午後の二時頃になると、ある方は杖をつき、ある方は車イスを自ら動かし、あるいは他の住民に押ししてもらいながら、多くの方が食堂に集まっています。そして、ゲームやりハビリ、歌などを楽しむ時間となります。

一週間のプログラムは次の通りです。

月：遊びり
火：リハビリ

(篤宿温泉病院の作業療法士：OT、理学療法士：PTによるもの)

水：趣味の時間
(踊りや書道、おりがみなど)

木：音楽
(楽器を使った演奏や歌など)

障害のある人もない人も 一緒になって

ここでは、毎週月曜日に行っている「遊びり」についてご紹介させて頂きたいと思えます。

「遊びり」とは、「遊び」と「リハビリ」を組合わせた言葉で、遊びを通して体を動かして楽しみ、心と体両方のリハビリとなることを目的としています。

内容としては、風船バレーやボール送り、輪投げなどです。

これらのゲームは、自立している方、マヒなどがあり車イスを使用している方、誰もが一緒に楽しむことができます。

はじめの頃は、あまりのり気でない方が多かったのですが、最近では「今日は何やる？」と聞いてく「カヤ、住民

自ら先頭に立ち、ゲームを進行したりする場面なども見られます。

また、普段無口な方が言葉を発することが多くなり、なかなか笑みをのぞかせてくれない方が、表情を緩める姿が日々伺われます。

午後のこの時間には、婦人民生委員の方や、趣味の会の方々が定期的に訪問し、住民の皆さんと一緒に活動して頂いており、これが刺激となっています。

ボランティアの方々に、改めて感謝の気持ちです。

(寮母 泉川 瞳)



川舟小児童とバスタオルを使ってのボール送り



今年度から行っている行事のひとつに「買い物ツアー」があります。

この行事は、日頃自分で買い物をする機会が少ない住民が、ドライブを兼ねながらボランティアの協力を得て外出するものです。住民懇談会などで希望する品物を聞き、月一回行っております。

これまで村内の商店や沢内銀河高原はもちろんのこと、湯田町のスーパーや時計店、本屋、洋品店、横手のデパートまで出かけたこともあり、参加した住民のひとり、佐々木サキさんは、「ボランティアの方々に車イスを押して頂き、ゆっくり好

買い物で心

高橋昇さん最高齢者賞受賞

県南ブロック輪投げ大会

一〇月一五日、水沢市総合体育館にて県南ブロック特別養護老人ホーム輪投げ大会が開催されました。

大きな服を見ることができ、大変楽しかった。これからも続けていきたい」と月一度の買い物を楽しみにしています。

「買い物をしている時のお年寄りの方の表情がとても生き生きとされていて、楽しく同行させてもらいました。買い物をするのは、お年寄りにとって大きな喜びであるということを感じました」

ボランティアとしてご協力頂いている、JA西和賀助け合い組織「結いっこ」のメンバーの方のご感想です。

(生活指導員 高橋公男)



ぶなの園代表メンバーの勇姿

一生懸命応援していた柏崎フミさんに、感想を聞いてみました。

「みんなの頑張る姿を見て、私も朗らかに応援できたし、あの世へ行っても思い出に残るだろう。私の隣にいた知らない方が、応援の道具を貸してくれた。気持ちの良い人もめぐり会えて良かった。みんなが精一杯投げている姿を見て、年をとっても頑張る精神が素晴らしい。楽しい旅行になった。ありがとうございました」

フミさんは涙をうかべながら、このように話して下さいました。

(看護婦 吉田美紀)



力投！最高齢高橋昇さん

今年の紅葉もみごどだったなあ

デイサービス利用者もみじ狩り

ぶなの園、かたくりの園両
 デイサービスセンターでは、
 湯田町峠山の「オアシス館」
 へ日程はそれぞれ異なりまし
 たが、温泉での入浴や紅葉を
 楽しむなど、くつろぎを求め
 て出かけてきました。



オアシス館でお弁当を楽しむ

かたくりの園利用者の皆さん

連日良い天候に恵まれ、オ
 アシス館では入浴する方、散
 策する方、気の合った方とお
 話しされている方と思いいい
 に過ごされていました。

昼食のお弁当に舌鼓を打ち、
 帰りには錦秋湖ハウスに立ち
 寄りお土産を買ったり、下前
 方面へ寄り道して紅葉を見物
 したりしました。

「また来年も連れて来てもら
 いてえもんだ」と笑顔で話す
 利用者の皆さんは無事かたくり
 の園に帰園し、かたくりの
 園で待つ方々と一緒に元気に
 帰宅しました。

帰宅するバスの中で、ある
 方がひと言。

「よそもいいどもこの紅葉
 もみごどだよ」

ぶなの園デイサービス

生活指導員 泉川世理子



ぶなの園ホームヘルプステ
 ーションでは一〇月より来年
 三月までの六カ月間、二四時
 間のホームヘルプ事業を試み
 として行っています。

これは岩手県の委託により
 モデル事業として行っている
 ものです。モデル事業として
 行うことの目的は、実際に夜
 間も含めた訪問介護をさせて
 頂き、さらにアンケートで村
 民の意向を伺い、そして二四
 時間ホームヘルプサービスを
 実施している他の事業所で研
 修したりと、様々なことを行
 う中で、今後の課題を明確に
 することです。

今後沢内村でも、一人暮らし
 しや高齢者のみの世帯が増え
 ていくことは、間違いないで
 しょう。

試みしています

24時間 ホームヘルプ 事業

家族介護者教室

平成二一年度の家族介護者
 教室が、九月からかたくりの
 園で行われており、これまで
 三人の講師の方をお招きし、
 実施しました。

一回目はぶなの園施設長に
 よる「老人の心理と家族介護
 について」、二回目は沢内村
 保健福祉課主任栄養士の泉玲
 子氏による「お年寄りの食事
 について」、三回目は「移動
 介護用品の選び方と使用方法
 について」と題して、介護用
 品を取り扱う業者の宇都宮宏
 二氏にお話しして頂いており
 ます。

参加して下さった方々は、
 家庭での介護や生活に役立て
 ようと真剣な表情で聞いてお
 りました。その中の何名かに
 感想をお聞きしましたので、
 ご紹介します。

泉氏のお話しを聞いて：

「自分の家で採れた野菜など
 を上手に保存し、安心してお
 いしく食べるということの大
 切さを改めて感じました」

(泉沢 小山ヨリさん)

「こちそうになった甘酒がと
 てもおいしくて、家に帰って
 さっそく作り、家族とまた頂
 きました」

(泉沢 高橋キミさん)

宇都宮氏のお話しを
 聞いて：

「家の中に手すりや
 付けたことにより、
 歩けるようになった
 人もいるということ
 を聞いて、ちょっと
 した工夫で安全な生
 活ができるというこ
 とを再確認した。様
 々な器具も見せても
 もらい、大変参考に
 なりました。」

(若畑

吉田史子さん)



様々な介護用品を手に
説明する宇都宮氏

今後予定している介護者教
 室もありますので、ぜひ多く
 の方に参加して頂きたいと思
 います。

かたくりの園

看護婦 深沢恵子

このような中で、ホームヘ
 ルプ利用者や家族にとって、
 日中だけでなく夜間も含めた
 生活のリズムはどのようなの
 か、夜間のホームヘルパーへ
 の要望は何かのかなどを明確
 にする。そして私どもやすら
 ぎ会だけでなく、病院など他
 機関とも協力、連携し、利用
 者が可能な限り快適な生活が
 維持できるよう援助させて頂
 く体制について検討していく
 計画です。

(施設長 上野米子)

ご利用ください 在宅介護支援センター 出張相談

☆在宅介護支援センターでは5月より週1回ずつ
 川舟地区、新町地区に相談員が出張し、高齢者
 の介護に関するあらゆる相談に応じています。

火曜日 川舟公民館 木曜日 新町公民館

時間帯はいずれも9:00~12:00です

☆火・木曜日が祝祭日の場合、行事等で公民館が
 使用できない場合はぶなの園内の支援センター
 でお受けしています。

ぜひ、お気軽にご利用、ご相談ください。

かたくりの園では、毎年第一小学校のご協力により訪問交流を実施しております。一月二日に一年生の児童二三人がかたくりの園に来園しました。

子どもたちの元気な音読、歌、ピアノ演奏があり、ある利用者の方は「おらのちゃつこいどぎだば、ひとめりして人前でしゃべるごどねがつたども、今のわらしだばたいしたもんだなあ」と、感心しながら見ておられました。後半は、お手玉やあやとりを利用者の方々と一緒にを行いました。



練習してきた
ピアノ演奏を披露

子どもたちの姿にひ孫を思い出し、涙ぐんでおられる利用者の方。「もつとお手玉遊

びをやりたかった。また遊びに来たい」と言って帰った子どもたち。時間はあつという間でした。利用者の中には普段あまり子どもと接することのない方もおり、小さい子どもたちと

子どもたちとの 楽しいひととき かたくりの園

の交流は他の活動と違い、職員から見ても胸がキュンとする感動です。一期一会、次回の出会いを約束しての一時半でした。
(かたくりの園 寮母 田中真起子)

一月から、第二、四週の月・水・木曜日に、村内の婦人民生委員の方にボランティアとしておいで頂いております。主に、レクリエーションを行う際のお手伝いとおやつ介助をして頂いています。

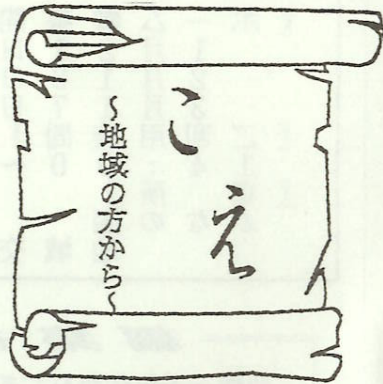
ぶなの園 外からの暖かい風 婦人民生委員の皆さん

風船バレーでは、職員だけの時より盛り上がり、ボランティアの参加は住民にとって職員とは違う喜びを与えてくれているようです。
書道では何を書こうかと真剣な表情で取り組む民生委員



民生委員さんと共に
芸術作品を作成中

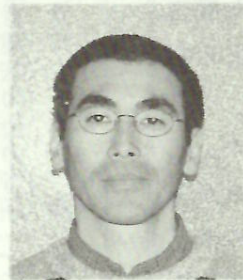
さんと住民の方の姿が見られました。歌と踊りでは、大好きな住民のために民謡に合わせて踊って下さると、住民の方々はハツラツとしています。ご協力頂いている婦人民生委員のある方は、「何もかも初めてで、何をどうしたらいいのかかわからず、お願いされたことをするのがやっとでした。回を重ねていけば自然と動けるようになるとは思いますが」とのお話でした。ボランティアの皆さんの訪問は、住民に暖かい外からの風を運んでくれているようです。
(寮母 上中屋敷陽子)



『実習を通して
やりがいを実感』

農的な暮らしを求めて沢内村に移り住み五年が経過しました。この間、この見知らぬ土地でいったい何ができるのか、何をしたらいいのかをずっと考えてきましたが、最近ようやくその方向性が見えてきたところでした。

これまで、福祉とは全く縁のなかつた私ですが、今年JAのヘルパー研修を受講する機会を得、さらに施設実習でぶなの園、かたくりの園を訪問させてもらったり、ヘルパーの方に同行して一般のご家庭にも訪問させて頂き、私に



七内 坂本光弘さん

とって大変貴重な体験となりました。改めてお礼申し上げます。ありがとうございます。介護保険制度の導入でいかに介護職が脚光を浴びていますが、人生の最後のときをいかに演出してあげるか、それが介護職の役割だと感じました。その人が、自分の人生を振

り返ったとき、良い人生だったと思うのか、それとも反対に何も良いことがなかったと思うのか、その判断に大きく影響を与える仕事なのではないかと感じています。そしてそれだけにやりがいのある仕事だと思っています。現場で働いている皆さん、目立たない、地味な努力を積み重ねる毎日とは思いますが、

職員同士の 実演で

サービスの質の向上を

施設長を含む全チーフ会議では、来年度から始まる介護保険制度実施下での職員の資質向上の一環として、利用者や住民に対する言動を見直すことにしました。

担当者を決め、学習方法としてスーパージョンという方法を取り入れることに決めました。これは私たち職員が利用者に対する多くの場面想定をし、職員が利用者側と職員側に分かれて、それぞれの立場で実演し、その後で助言または援助し合うことです。職員同士での実演を相互に評価、批判する中で、何が問題かなどを気付き合うことが

大切なのです。担当者は今、業務内で起こり得る場面を具体的に想定しそこでどのような対応をすべきかを詳細に渡って作成しています。

今回の方法は、数名のグループを作って行うグループスーパージョンと呼ばれる方法です。この学習を通じて、また、同じ学習の回数を重ねる中で職員全体が統一した認識のもとでサービスの質を高め、介護保険下においても「利用者が主人公」の理念を貫いていくつもりです。

お年寄りの、あの引き込まれるような笑顔を励みに頑張って頂きたいと思えます。

(かたくりの園 生活指導員 高橋宏明)



ホーム喫茶のご案内



【ホ ー ム 喫 茶 開 店 日 期】
 【 1 2 3 利 用 時 間 】 1 6 : 0 0
 【 こ 場 ぶ な の 園 地 域 交 流 ス ペ ー ス 】

☆1月のホーム喫茶では、ケーキや和菓子、大判焼き、コーヒー、ジュース類等をご用意する予定です。ぜひ、いらしてみてください。お待ちしております。

編集後記

西暦一千年代から二千年代に突入する日が刻々と近付いています。この大きな歴史の移り変わりの時を、人生の中で迎えられることに感謝したいと思います。

しかし、沢内村ではそんなことより、これからの天気の方が気になるという人が圧倒的に多いのが現実ではないでしょうか。

2000年午前0時のカウントダウンよりも、春の訪れが待ち遠しい今日この頃です。

〈やすらぎ会広報委員〉

高橋 渉 佐々木愛子 照井由美子
 高橋みどり 近藤富子 泉川世理子

感謝申し上げます

- 平成一一年九月〜十一月
- 深沢洋子様他 ボラン
- ティアグループの皆様
- 新町婦人会の皆様
- (ホーム喫茶)
- 沢内村理容組合の皆様
- (特養住民散髪)
- 民生委員婦人部の皆様
- 高齢者趣味の会の皆様
- (レクリエーション、趣
- 味活動援助)
- 結いっこの皆様
- (買物ツアー)
- 西和賀高校二年生の皆
- (施設窓拭き)
- 高橋 伸様
- (特養住民介助)
- ご支援、ご協力
- ありがとうございます

在宅での介護のお悩みは

在宅介護支援センター まで

○支援センター直通 (平日8:30~17:30)

8 5 — 2 3 1 9

○土・日・祝日、夜間 (17:30~8:30)

8 5 — 2 3 2 2

※特別養護老人ホーム「ぶなの園」寮父母対応

お気軽にどうぞ